

(一社) 建築構造技術支援機構

T Sリング

(溶接せん断補強筋)

SABTEC 評価 21-03



北豊鋼材株式会社

(一社)建築構造技術支援機構の評価を得ました。

TSリング (溶接せん断補強筋)

SABTEC 評価 21-03

TSリングは日本工業規格が定める鉄筋コンクリート用棒鋼 JIS G 3112 の基準に適合した異形棒鋼 (規格 SD295、SD345) を、切断、曲げ加工を行い、電気抵抗溶接によって突合せ溶接したせん断補強筋です。溶接部の品質は、A 級継手の性能を有しています。



TSリングの特徴

- 1 本製品は (一社) 建築構造技術支援機構の評価を受けています。
- 2 突合せ溶接により重量を軽減することが出来経済的である。
- 3 余長、重ね部分がないため、コンクリートの流入が容易である。
- 4 継手性能 A 級

● 適用範囲

TSリングの適用対象構造種別は、
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、
プレストレストコンクリート造、
プレキャストコンクリート造

規 格	SD295	SD345
呼び名	D10、D13、D16	D13、D16

● 使用箇所

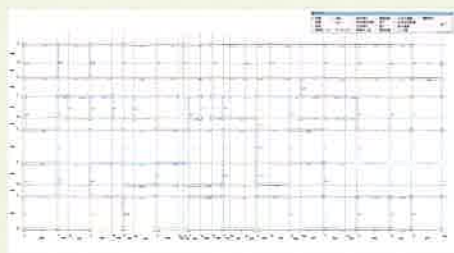
柱、梁の帯筋、あばら筋

● 製品形状



製造工程

デリバリーは万全の体制で対応致しますのでご安心ください。
札幌市内に工場があるので、デリバリーの優位性を生かし、
敏速かつスピーディーな対応が可能です。



積算 鉄之助使用



加工用専用リストを作成します。



専用リストに基づき、
切断を行います。



専用リストに基づき
曲げ加工を行います。



アップセット溶接



引張試験



検品後、現場ごとに積み込みし
出荷されます。



技術評価書

申込者：北豊鋼材株式会社 代表取締役社長 児玉 宣彦
札幌市西区発寒11条12丁目2-30
上記住所は、「札幌市西区発寒10条13丁目1-1」に2022年4月より変更すると
している。

技術名称：TSリング溶接せん断補強筋

技術概要：TSリングは、JFE条鋼(株)豊平製造所が製造するJIS G 3112に適合する異形
棒鋼を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁に配置されるせん断補強筋であり、溶接閉
鎖型として用いることができる。TSリング溶接継手は、2020年版建築物の構造関
係技術基準解説書に示された建設省告示第1463号(平成12年5月31日)に基づく
「鉄筋の溶接継手性能判定基準」によるA級継手と同等の性能を有するとしている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定め
た技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2022年3月11日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

- 評価方法： 申込者提出の下記資料を基に、技術評価を行った。
TSリング標準製造要領書、溶接試験説明資料および関連資料
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめ
られている。
- 評価内容： TSリング溶接継手は、2020年版建築物の構造関係技術基準解説書に示された建設
省告示第1463号(平成12年5月31日)に基づく「鉄筋の溶接継手性能判定基準」に
よるA級継手と同等の性能を有すると判断される。

SABTEC

事務所

〒063-0830 北海道札幌市西区発寒10条13丁目1番1号
JFE条鋼(株)内 1F

●電話 011-661-4352 ●FAX 011-661-1254

工場

〒063-0830 北海道札幌市西区発寒10条13丁目1番1号
JFE条鋼(株)内 第2工場

〒063-0832 北海道札幌市西区発寒12条12丁目2番25号
JFE条鋼(株)内 第5工場



北豊鋼材株式会社